

都市部でも観光振興 道の駅を核に地域活性化

ACKグループ

ACKグループは、地域創生、観光振興で事業の多角化の取り組みを一段と強化する。各地で受託した都市公園の指定管理業務に關連し、地域振興のための新商品の開発などにも乗り出した。「道の駅」の運営支援に加え、自らが出資して運営にも参画する方針を固めた。地方都市だけでなく、東京都市部でも観光振興事業を展開する。

同社は今年、グループで市内周遊観光事業と下各社が九州地方で地熱発電、レッキングクツァー事業を電とハウス栽培、温泉施設、相次ぎ展開した。公園の設を複合した新規事業、指定管理業務を受託したや、山梨県南アルプス市「響灘緑地」では、地元と協

働し、地元の名産品であるトマトを使った新たな商品(トマトアイスコロツケ)の開発と販売に乗り出すなど、事業の多角化を推進している。

今後は一般道路の休憩施設「道の駅」を地域活性化の核とした事業に注力する。グループのオリエンタルコンサルタンツは11月、旅行案内書の発行など手掛ける地球の歩き方I&E(東京都新宿区、中村竹志社長)と「道の駅」と周辺地域の活性化を支援する「一般社団法人未知倶楽部」を

設立し、道の駅が抱える課題解決や高付加価値化を支援する事業を行う体制を整えた。さらに茨城

道路分野で培った技術、ノウハウを活用した事業も強化する。福岡県

うきは市では、街中に配

置いたビーコンセンサーで観光客の携帯端末に、歩いていけると市内の遺跡や旧跡、飲食店の情報、クーポンを配信する観光情報配信サービスも始めた。今後、他の町でも同様の事業を展開する。東京都内での観光関連事業も積極的に関与す

県阿見町、岩手県田野畑村などで基本計画の策定、栃木県の「道の駅しもつけ」で地元の食材販売なども手がけている。自らが「道の駅」の運営に出資することも検討中だ。

外国人向けの案内サインのガイドライン作成(東京都)、外国人向けの舟運を活用した観光プログラム(東京都墨田区)、首都高速道路の景観検討などを受注済みで、特に2020年東京五輪に關連した事業の受注活動を強める。